



ユキヤナギ上のテントウムシ成虫の雌雄

テントウムシを増やそう
 「コウチュウ目テントウムシ科」
 成虫の体長は7〜8mm、翅は黒地に赤紋、赤地に細かい黒紋、全体が黄赤色など多様です。関東では写真のような黒地2赤玉斑が多く、幼虫は青黒色の地に赤橙色、突起があります。日本、東アジアに分布します◆国内では果樹や野菜に発生するアブラムシやカイガラムシ、害虫の卵を捕食する天敵として、大切にされています。冬〜早春、成虫

は落ち葉、材木、階段の下などで寒さを避け集団越冬しているの、ぜひ探してください。3月以降温暖な日には動きだし樹木に登り、新葉にいるアブラムシを捕食します◆早春に新芽をだすユキヤナギやオオミグミ、やや遅れてムクゲ、そしてウメやモモ、ナシの木などに発生するアブラムシを捕食します。アブラムシは作物から養分を吸収してオシッコ(甘露という)を葉や枝にたらし、そこにカビのすす病を発生させます。すると光合成が減り、作物の勢いなくなります。さらにウメ、モモのウメ輪紋病、ジャガイモの葉巻病、キュウリのモザイク病などの植物ウイルスを伝染する害虫として警戒されています◆アブラムシの防除は難しいのですが、天敵であるテントウムシを増やすことで、アブラムシの捕食を誘導し、農作物の健全栽培の一助になります。草地に多い同じ仲間のナナホシテントウも大切にしたいです。

(平井一男)

越生駅バリアフリー整備工事が完成



このたび、JR八高線と東武越生線のホームに車いす対応型エレベーターが設置され、お年寄りや体の不自由な方々にも快適で安心して駅を利用できるようになりました。また、越生駅西口トイレの一部を多機能型トイレに改修しました。長い間大変ご不便、ご迷惑をお掛けいたしました。



▲新設されたエレベーター



▲障害者用トイレを多機能型トイレに改修

あとかき

もう春ですね。あつという間に1年が過ぎました。ゆとり世代なのに、ゆとりがなかったというか作ろうとしなかったというか…。ガタゴトな1年でした。

ところでみなさん、今年も越生梅林に行きましたか？今年ほとんどもない大雪の影響のせいか開花は遅かったですね。人権の啓発活動の日程を見ごろが3月上旬だと予測し調整しましたが、結果は大大大ハズレ。早咲きの梅がちらほら咲いている程でした。開花予測は難しい。そして大雪やっぱり憎し。

桜は空気を読んでさくらまつりに合わせて咲いてほしいものです。その際はみなさんお越しくださいな。お待ちしています。【太陽】

4月の納税 (4月30日まで)

町 県 民 税 随時期
 国民健康保険税 随時期

バーコード印字のある納付書は、納期限内に限りコンビニエンスストアでの納付に使用できます。詳細は納付書をご覧ください。

人口と世帯 3月1日現在()は前月比

総人口	12,425人	(- 3)
男性	6,196人	(+ 3)
女性	6,229人	(- 6)
世帯数	4,935世帯	(- 2)